

鎌ヶ谷市国民健康保険保健事業実施計画 ～データヘルス計画～ 概要版（案）

（平成28年度・29年度）

「日本再興戦略」（平成25年6月14日閣議決定）において、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画としてデータヘルス計画の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとなりました。

こうした背景を踏まえ、鎌ヶ谷市においても、健康・医療情報を活用して、被保険者の健康保持増進、生活習慣病の発症や重症化の予防のため、「鎌ヶ谷市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定しました。

目的

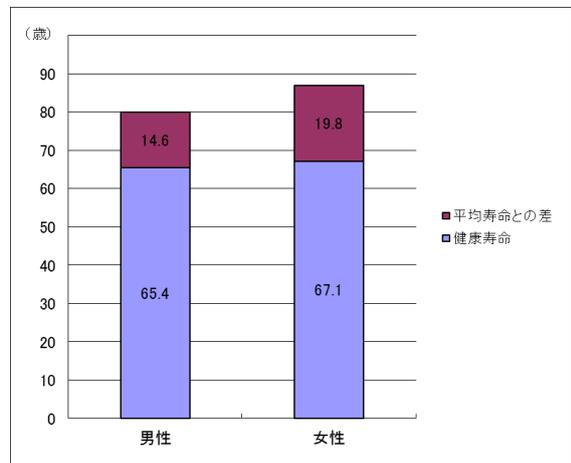


健康寿命の延伸 医療費の適正化 をめざして

本計画は、KDBシステムのデータを活用し、医療費の増大につながる課題を明確にした上で、PDCAサイクル（P.4 図）に沿った効果的・効率的な保健事業を実施するものです。

鎌ヶ谷市の 健康寿命と平均寿命の差は

男性 14.6 歳 女性 19.8 歳

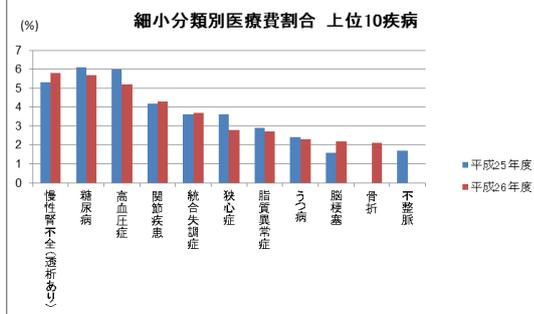
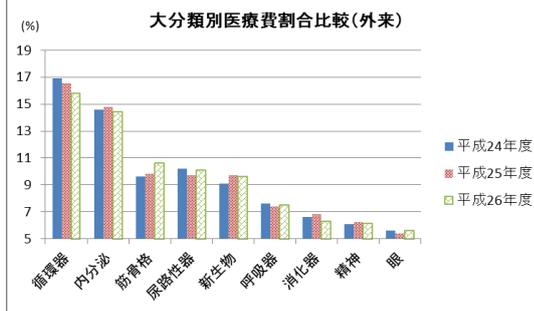
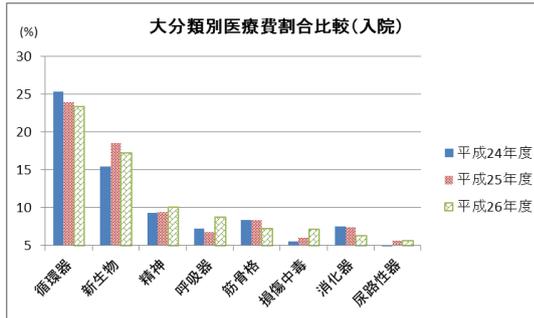


※健康寿命…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる（介護不要の）期間のこと。

※平均寿命…発表された年に生まれた者（0歳時）が、その後何年生きられるかという期待値のこと。

【データヘルス計画の特徴】

データヘルス計画は、KDBシステム（国保データベースシステム）の導入により、医療（電子レセプト）・特定健診・介護のデータがひもづけられ、これまで行ってきた健康づくりに関するデータ作成が効率化され、地域の現状や健康課題の把握だけでなく、統一された指標、基準で国や千葉県、同規模の市町村と比較することが可能になりました。本計画ではKDBシステムで得られた情報を多数採用しています。

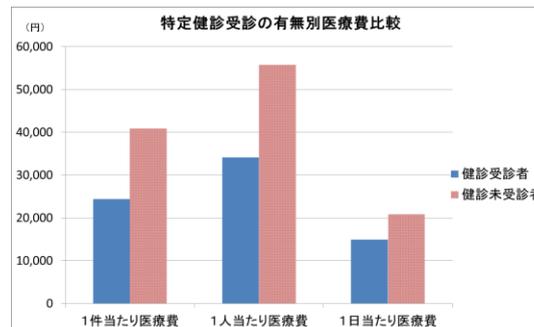


医療費の分析からみえた “生活習慣病予防”の必要性

大分類別疾患の医療費の状況から、入院では「循環器」「新生物」、外来では「循環器」「内分泌」「泌尿器」などの生活習慣に起因する医療費の割合が上位を占めています。「循環器」には、高血圧性疾患や心疾患、「内分泌」には、糖尿病や脂質異常症、「泌尿器」には、腎不全が含まれています。

医療費の高い「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「人工透析」のレセプトを分析したところ、基礎疾患に糖尿病や高血圧症、脂質異常症をもっており、生活習慣病の因子が重なると脳や心臓、腎臓などの臓器の病気を発症することがわかりました。

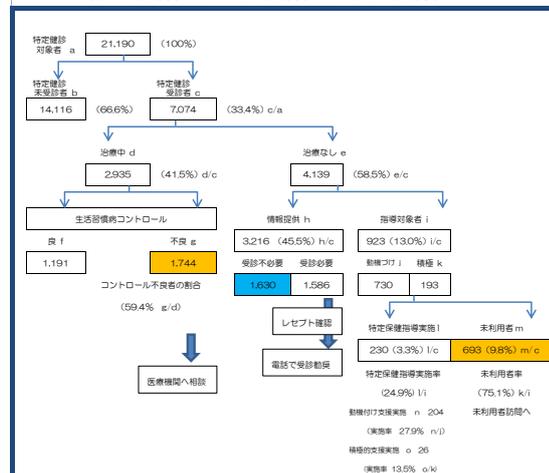
- ※循環器…全身に血液やリンパ液を循環させる器官(心臓・血管・リンパ管など)を指す。循環器系疾患に分類されるものとして高血圧症・脳梗塞・狭心症・心筋梗塞・不整脈・大動脈瘤などがある。
- ※新生物…いわゆる癌のこと。
- ※内分泌…血液中にホルモンを分泌する器官(視床下部・甲状腺・副腎皮質など)を指す。内分泌疾患に分類されるものとして脂質異常症・糖尿病・甲状腺機能亢進症などがある。
- ※脂質異常症…血液に含まれる脂質が異常をきたす病気で、LDL コレステロール値が140mg/dl以上、HDL コレステロール値が40mg/dl未満、中性脂肪値が150mg/dl以上のいずれかのときに診断される。
- ※脳血管疾患…脳の血管に異常が生じ、出血または虚血(局所的な貧血)により障害が発生することで起こる疾患の総称のこと。
- ※虚血性心疾患…冠動脈の梗塞や狭窄により心臓の血管が詰まったり狭くなったりするなど、血流の流れが悪くなることで心臓に障害がおこる疾患の総称のこと。



特定健診結果の分析からみえた “特定健診・特定保健指導”の重要性

平成 26 年度に特定健診を受診した人と受診していない人を比較すると、1 人当たり医療費は受診者で 34,080 円のところ未受診者は 55,720 円となり、2 万円以上の差が開きました。

また、平成 26 年度特定健診受診者のうち、結果が良好で受診が必要ない人は 23%、何らかのリスクを持つ人は 77%となりました。この内、治療中でも、生活習慣病コントロール不良者(基準値を超える人)は 1,744 人、また、特定保健指導の対象者中、利用しなかった者は 693 人いることがわかりました。

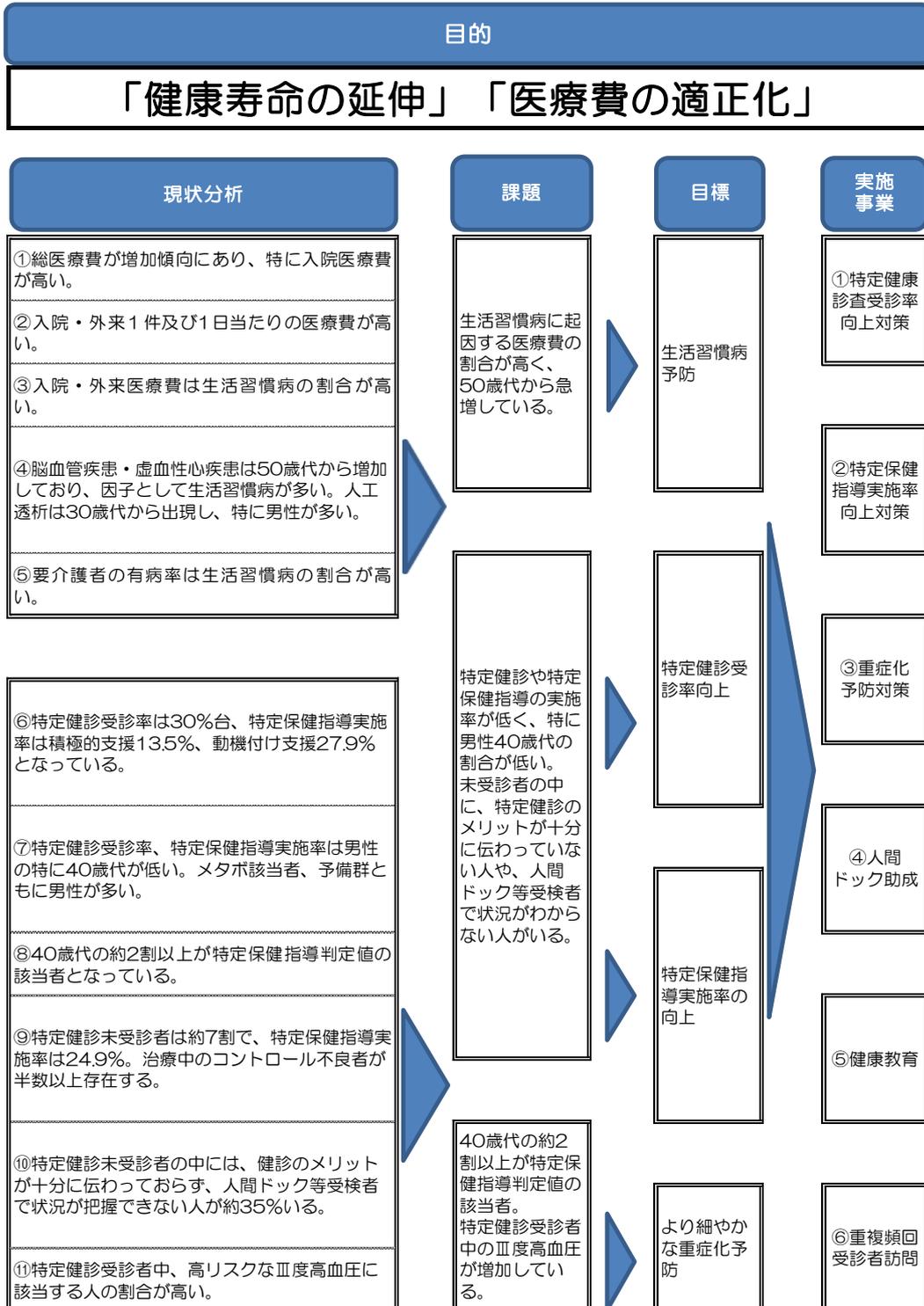


- ※特定健診…特定健康診査の略称で、医療保険者(国保・被用者保険)が40歳~74歳の加入者を対象として実施する、メタボリックシンドロームに着目した検査項目での健康診査のこと。
- ※特定保健指導…医療保険者が、特定健診の結果により健康の保持に努める必要がある者に対し実施する、支援のこと。

課題
・
対策

課題及び対策

医療費分析、特定健診および特定保健指導の状況、未受診者に対するアンケート結果などから見えてきた健康課題とその課題を解決するための対策をまとめました。



※Ⅲ度高血圧…収縮期血圧 180mmHg 以上かつ、または拡張期血圧 110mmHg 以上に該当する血圧のこと

これからの 保健事業

28年度・29年度に 予定している保健事業

●特定健康診査受診率向上対策事業

生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定健康診査の受診率向上に取り組みます。

(成果目標：特定健診受診率 平成28年度55% 平成29年度60%)

●特定保健指導実施率向上対策事業

対象者自身が、特定健康診査結果を理解し、自らの生活習慣を振り返り、生活習慣を改善するための行動目標を設定、特定保健指導実施率の向上に取り組みます。

(成果目標：特定保健指導実施率 平成28年度55% 平成29年度60%)

●重症化予防対策事業

糖尿病と高血圧のハイリスク者に対して、電話・面接・訪問による保健指導を実施し、受診者の重症化を予防します。

(成果目標：重症化予防対象者把握率 平成28年度86% 平成29年度87%)

●人間ドック助成事業

被保険者の疾病予防、早期発見及び早期治療に役立て、健康保持増進を図るため、人間ドックの検査費用を一部助成します。

(成果目標：特定健診受診率 平成28年度55% 平成29年度60%)

●健康教育事業

あらゆる機会を通じて、運動習慣や食習慣、飲酒等、生活習慣に着目した健康管理の重要性を広く知ってもらうため、健康教育を実施します。

(成果目標：高血圧・糖尿病の教育回数及び延べ人数
平成28年度前回より増加 平成29年度前回より増加)

●重複頻回受診者訪問事業

同じ診療科を同月に複数受診している被保険者に対して、保健師による訪問活動を実施します。

(成果目標：実施率 平成28年度前回より増加 平成29年度前回より増加)

(図) 保健事業のPDCAサイクル

評価

計画の評価 ・見直し

最終年度となる平成29年度に本計画に掲げた目標の達成状況进行评估し、PDCAサイクル(図)に沿って、計画の見直しを行います。

